

(仮称) 藤沢市住生活マスタープラン 施策体系 (案)

将来像と基本方針	目標		施策	具体的取組 (現行計画より抜粋)
【住生活の将来像】	1 【住宅確保要配慮者】 住宅確保要配慮者等に対する居住の安定確保の実現 (方針1)	高齢者、障がい者、低所得者、外国人市民など住宅確保に配慮を要する人々が、地域で安心して暮らし続けられるよう、市営住宅への入居や民間賃貸住宅の活用を進める。居住支援協議会や福祉と連携した入居前後の支援体制の充実を進め、多様化・複雑化するニーズに対応した居住の安定化を図る。	1-1 市営住宅の柔軟な活用への促進 1-2 住宅確保要配慮者への居住に関する総合的な住まいの支援 1-3 民間賃貸住宅（セーフティネット登録住宅等）への入居支援 1-4 居住支援協議会や福祉サービス等と連携した居住支援 1-5 高齢者・障がい者・要介護者等への入居施設に対する支援 2-1 安全で快適に子育てができる住宅・住環境の普及 2-2 若年世帯や子育て世帯に優しい良質な賃貸住宅の確保 2-3 若年世帯等のライフスタイルに対応した住まい方の普及	市営住宅の入居募集及び優先枠の拡充 重度障がい者住宅設備改良への助成 住宅入居等支援事業（居住サポート事業）の実施 居住支援協議会による要配慮者の住宅確保及び入居後の支援 高齢者の居住の安定確保の推進 若年世代の住宅に対する支援の検討
	2 【若年世帯等】 次代を担う若年世帯や子育て世帯を支える住宅・住環境の普及 (方針1) (方針2)	次代を担う若年世帯や子育て世帯が安心して住み続けられるよう、良質な住宅の普及や既存住宅の活用を進め、居住ニーズに応じた住まい選びを支援する。多様な働き方に対応した住環境の整備を通じ、若年世帯や子育て世帯が魅力を感じる住生活の実現を図る。	3-1 住宅の耐震化、倒壊防止の促進 3-2 住宅・住環境における防火性能の強化 3-3 災害ハザード情報等に基づく防災・減災対策の推進 3-4 災害発生時における住まいの応急・復旧体制の強化 4-1 空家等に対する発生抑制の推進 4-2 空家等の適正管理の促進 4-3 空家等における住み替えや利活用の促進 4-4 空家等の除却に向けた支援や取組 5-1 市営住宅ストックの適正管理と改善整備 5-2 社会ニーズ等の変化に対応した市営住宅の再整備	建築物等防災対策事業の推進 住宅防火対策の推進 市営住宅における津波避難施設の維持管理 住宅支援策を含めた応急仮設住宅設置等計画の推進 空き家の適正管理の促進 特定空き家の認定 藤沢市空き家活用マッチング制度による空き家情報の提供
	3 【災害】 頻発化・激甚化する災害等に対応した安全で安心な住環境の整備 (方針1) (方針2)	頻発化・激甚化する災害等に対応するため、住宅の耐震化や津波避難対策、延焼に対する防火性能の強化を進め、住環境における防災性の向上を図る。日頃から災害に備え迅速な避難や応急対応を進め、復旧・復興までを見据えた支援体制の構築を促進する。	6-1 マンション管理組合等による主体的な活動の促進 6-2 分譲マンションの社会的な価値と住宅性能の向上 6-3 高経年マンションにおける管理不全の予防対策 6-4 マンション再生の円滑化に向けた支援 7-1 良質な住宅・宅地・住環境の供給や形成促進 7-2 安心して既存住宅の取引ができる住宅流通環境の整備 7-3 ライフステージ等の変化に応じた住まい選びの促進	市営住宅の計画的な改修工事の実施 分譲マンションの適切な管理等に関するNPOと連携した支援 マンションの建替え等の円滑化の促進 長期優良住宅建築等計画の認定の促進 中古住宅を活用した住み替えの仕組みづくり
【3つの基本方針】 (方針1) 心豊かに安心して暮らせる住生活の実現 (方針2) 持続・循環可能な住宅ストックの創出と既存の利活用と再生 (方針3) 地域で多様な暮らしとつながりを実現する住環境の形成	4 【空家】 空家の発生抑制と適正管理及び有効活用や除却の促進 (方針1) (方針2)	安全で快適な住環境のため、空家の発生抑制、適正管理、地域に資する多様な利活用を総合的に推進する。地域の安全確保と良好な景観を維持保全するため、不要な空家等の除却を促進する。	8-1 脱炭素化による持続可能な住宅・住環境の創出	建築物のエネルギー消費性能の向上 環境性能の向上
	5 【市営住宅】 市営住宅の適切な管理と社会ニーズに対応する集約・再生 (方針1) (方針2)	市営住宅ストックを総合的に管理し、計画的な維持管理や計画的な修繕・更新を進める。将来の需要の見通しを踏まえつつ、社会ニーズの変化に対応した再整備や、地域課題の解決に向けた市営住宅の構築を図る。	9-1 緑豊かな自然環境に恵まれた良好な住環境の形成 9-2 地域の実情に即した街なみ・景観等に配慮した取組の促進	緑ある居住環境の維持・形成 地区計画や建築協定、景観協定等を活用したまちづくり
	6 【マンション管理】 分譲マンションの再生等の円滑化の推進や管理の適正化 (方針2)	高経年化が進む分譲マンションに対し、管理組合の体制強化を促進し、管理不全の予防等を図る。高経年マンションの再生や建替えに向けた合意形成を見据え、持続可能なマンションストックの再生と円滑な更新を促進する。	10-1 次世代の住み手・担い手が共生する住環境の創出 10-2 住宅団地ストックの再生に向けた活力の創出	多世代居住のまちづくりに向けた仕組みの検討
	7 【住宅ストック市場】 住宅ストック市場の循環に向けた良質な住宅等の供給と既存住宅の性能向上の促進 (方針2)	良質な住宅等を供給し、既存住宅が適切に評価されることで、住宅ストック市場の形成を進める。良好な住宅を長期に使用し、多世代に渡り住み継がれる住宅市場の構築を図る。	11-1 住まいづくり・住まい方に関する学びの推進 11-2 住まい・暮らしのリテラシーの情報の発信と啓発の推進 11-3 住宅供給に関わる人々との情報共有と活動連携の推進	
	8 【脱炭素化】 脱炭素化につながる住宅・住環境の創出 (方針2)	住宅分野における脱炭素化を目指し、省エネ性能の向上や再エネ設備の導入、住宅の断熱化等を促進する。住宅の高性能化や暮らし方の工夫により、環境負荷を減らしつつ、快適で安全な住生活の両立を実現する。		
	9 【自然環境・街なみ】 自然環境と街なみが調和した住宅地や市街地の形成 (方針1) (方針3)	地域の特徴を活かしたまちづくりを推進するため、地域に蓄積されてきた（根付いた）文化や歴史、自然などの資産を活用し、地域独自の魅力や価値の向上に資する取組を促進する。		
	10 【多世代共生】 多世代共生を実現する魅力ある良好な住環境の創出 (方針1) (方針3)	多世代・多様な世帯が地域の中で支え合い、共生できる住生活の形成を促進する。誰もが安心を実感し、いきいきと暮らせる地域活力の向上を促進し、快適で魅力ある住生活の実現を図る。		
	11 【リテラシー】 住まい・暮らしのリテラシーを向上させる住生活の学びと情報発信の推進 (方針1) (方針2) (方針3)	住み手を含めた住生活に係るすべての人が、自ら主体的に選択・判断・活用・行動等ができる知識（リテラシー）を高め、個々が質の高い住生活を実現できるよう、住生活のリテラシーの向上に資する住教育や様々な手段による情報の提供等の取組を推進する。		

※目標の番号は通し番号であり、優先順位ではない